

競技会開催における基本的な感染症対策

日本陸上競技連盟競技会開催ガイダンスに基き、下記の通りとする。

1. 3密回避の励行

- ・密閉空間（効果的な換気が実施されていない）
- ・密集場所（多くの人々が密集している）
- ・密接場面（互いに手を伸ばしたら届く距離での会話や発声が行われる）

2. 清潔な環境

- ・こまめに手洗ひまたは手指の消毒を行い、手を清潔に保つ。
- ・多くの人々が頻りに触れる箇所を清潔に保つ。

3. マスク着用について

- ・個人の主体的な選択を尊重し、着用は個人の判断に委ねることを基本とする。
 - ・咳をする際には、咳エチケットにより飛沫を飛ばさないようにする。
- ※夏場において、マスクを着用してウォーミングアップを行う場合、熱中症を引き起こす恐れもあるため、熱中症予防の観点から、屋外でマスクの必要のない場面では、マスクを外すことを推奨する。

4. 基本的な注意事項

競技者・チーム関係者・大会/競技役員・観客・メディア・競技場スタッフなどへ

- ・3密を避けた行動の推奨。
 - ・こまめな手洗ひ、アルコール等による手指消毒。
 - ・日々の体調管理の推奨。
 - ・新型コロナウイルスやインフルエンザウイルスなどによる感染症罹患中および快復後十分な時間を経過していない場合に競技会への参加及び競技会場において観戦しないこと。
- 快復後十分な時間とは、
- ・新型コロナウイルス症状がある場合は10日間、
 - ・症状がない場合は7日間、
 - ・インフルエンザ、発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日を経過するまで。
- ・発熱、咳嗽等の症状がある者は参加・観戦しないこと。

5. その他

- ・声を出しての応援について制限はしない。
- ・競技会場への入場者制限について、主催者において適切に判断する。

6. 大会主催者の免責事項

- ・大会主催者は競技会に関わる全ての人の感染に対するいかなる責任も負わない。